

1. 子どもが過ごす場所の備品類の地震対策

(1) 備品類の地震対策チェックリスト

チェック項目		ポイント
☐	①不要な備品や物	子どもが過ごす場所に不要な備品や物を置かない
	子どもたちが過ごす場所に 不要な物 や、 使用頻度の低い物 を置いていませんか？	・子どもたちの居場所を再点検し、整理整頓しましょう。 ・背の高い備品や使用頻度の低い物は、物置部屋や普段使用していない部屋等に移動しましょう。
☐	②備品や物の置き場所	ケガや避難の妨げにならない、固定しやすい場所
	出入口の近く や廊下等の 避難経路 、 窓ガラスの近く に備品類を置いていませんか？	・出入口の近くや廊下等の避難経路、窓ガラスの近くにはなるべく備品類を置かないようにしましょう。 ・転倒や移動によってガラスが割れると、ケガをしたり、避難の障害になったりします。
☐	③備品類の向き	備品類を置く向きを工夫する
	備品類が転倒、移動することで 被害が生じやすい向き になっていませんか？	・備品類を固定・配置する際は、転倒や移動を想定し、子どもたちの活動スペースやお昼寝場所、窓ガラスに向かって倒れてこないよう、位置や向きを十分に考慮しましょう。
☐	④備品類の重心	重い物は下、軽い物は上に置く
	棚などに収納する際は、 重い物 と 軽い物 の位置を工夫して置いていますか？	・棚などに収納する際、上部に重い物があると重心が高くなり、転倒しやすくなります。 ・「重い物は下、軽い物は上」に置くことを徹底しましょう。
☐	⑤備品類の固定	移動して使う備品類は、使わない時に壁際へ固定
	備品類の固定 はできていますか？	・備品類の固定は、用途に合わせた様々な器具や方法があります。 ・日常的に移動させて使用する備品についても、使用しない時は壁際に寄せ、着脱できる器具を活用して固定するなどの対策を講じましょう。
☐	⑥ガラスの飛散防止	ガラスが割れても飛散しない対策を
	ガラスが割れた場合、 飛散しないように対策 ができていますか？	・避難経路や危険な箇所を中心に、ガラスへの飛散防止フィルムを貼り付けましょう。 ・地震の揺れによるガラスの破損・飛散を防ぐことは子どもたちの負傷防止だけでなく、避難障害をなくすことにもつながります。
☐	⑦落下防止	棚から物が落ちないような対策を
	滑り止めマット を敷くなど、物が滑って落下しないような対策はしていますか？	・棚の上には、なるべく物を置かないようにしましょう。 ・やむを得ず置く場合には、滑り止めマットを敷き、落下の衝撃による散乱やケガを防止する対策をしましょう。 ・その際、マット自体が滑り出さないよう、両面テープ等で棚にしっかり固定しましょう。